

令和5年度事業計画について

平成29年に改正された「文化芸術基本法」では、文化芸術の意義と価値を尊重しつつも、文化芸術そのものだけではなく、観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育などと連携し、文化芸術により生み出されるさまざまな価値を活用することにより、心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に貢献することを目的としている。また、神戸市においては、「神戸2025ビジョン」やその具体的施策として、市の文化芸術施策が目指す姿や基本的な方向性を示す指針となる「神戸市文化芸術推進ビジョン」が策定されている。

当財団でも、これらのビジョン等を踏まえ、令和4年度から令和8年度を計画年度として策定した「中期経営計画2026」に基づいて、神戸市民の文化の活動の振興に資する事業を行っていく。

令和5年度については、神戸文化ホールが開館50周年を迎えるほか、神戸ジャズ100周年という記念すべき年であることを踏まえ、個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与すべく『神戸文化ホール開館50周年記念事業』 Creating in Kobe | 神戸で創る』、「神戸ジャズ100周年記念事業」、また、リニューアルオープンする新開地アートひろばの管理運営を通して、子どもをはじめとするあらゆる世代の人々の交流や地域活性化及び文化芸術振興に資する事業を行っていく。

【主な事業内容】

（１）神戸文化ホール開館50周年記念事業

神戸文化ホールは昭和48年10月11日に開館し、令和5年に開館50周年という大きな節目の年を迎える。50年間、神戸市民と共に文化創造に取り組み、発信し続けてきた。そして、これからも成長を続け、個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与すべく、令和5年より『神戸文化ホール開館50周年記念事業』 Creating in Kobe | 神戸で創る』を3年間に渡り行う。

神戸が生み出した芸術家・芸術作品、神戸で活躍する芸術家などの貴重な文化資産、そして市域をこえた近隣地域の芸術活動にも焦点をあて、これまで神戸文化ホールが積み重ねてきた歴史に学びそれを発展させながら、神戸で実演芸術を新たに創り出す。

【令和5年度（2023年度）テーマ 港町讃歌】

- 5/19（金） 「ガラ・コンサート 神戸から未来へ」
- 10/21（土） 「緑のテーブル2017」
- 12/16（土） 「天地創造」
- 1/上旬 「ジャズ大名」

＜ガラ・コンサート 神戸から未来へ＞

令和5年より3年に渡り行う『神戸文化ホール開館50周年記念事業』のはじまりを告げる公演、テーマに掲げる「Creating in Kobe | 神戸で創る」を具現化する祝宴。

神戸市室内管弦楽団、神戸市混声合唱団を日本が誇るマエストロ、山田和樹が率いる。

戦前戦後に活躍した神戸の知られざる巨匠、作曲家・大澤壽人が戦時下で秘密裏に書いた作品の復活初演のほか、神戸や阪神間の児童で編成した児童合唱団による合唱など盛りだくさんのプログラム。

<緑のテーブル2017 ～神戸文化ホール開館50周年記念 Ver.～>

1932年にドイツの振付家クルト・ヨースが生んだ「緑のテーブル」をもとに、神戸を拠点に国内外で活躍する岡登志子が2017年に完全オリジナルとして創作発表した作品を、神戸を代表する貞松・浜田バレエ団団長の貞松融をゲストに迎えて開館50周年ヴァージョンとして再構築する。また、公演のフィナーレを飾るシーンの出演者を一般市民から募集する。「反戦バレエ」とも呼ばれる原作の精神を受け継ぎ、人間の営みにおける普遍的なものを問いかけ浮かび上がらせる。

<神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団合同定期演奏会『ハイドン：オラトリオ《天地創造》』>

令和3年（2021年）にヘンデルの《メサイア》で年末の神戸を沸かせた鈴木秀美と両団が神戸文化ホール50周年に《天地創造》を届ける。ロンドンで《メサイア》をはじめヘンデルのオラトリオを聞いたハイドンが刺激を受けて作曲したこの作品はまさに《メサイア》上演の後にふさわしい作品。豪華ソリスト陣とともに大作に挑む。

<ジャズ大名>

神戸在住の作家、筒井康隆の傑作小説「ジャズ大名」の舞台化。ジャズとの出会いを描く物語を、生演奏とダンスの狂乱で送るコメディ作品。人を魅惑する音楽の悦びと妖しさが、大きな転換期を迎える令和の世に、また神戸ジャズ100周年を祝う神戸の街に力強く鳴り響く！ 神戸と並んでジャズで賑わう港町、神奈川・横浜のKAAT 神奈川芸術劇場等と連携して実施する。

(2) 新開地アートひろば「ニューあそび場の創造」

令和5年度より、神戸アートビレージセンター（KAVC）は、新開地アートひろばとしてリニューアルオープンする。地域に開かれた場所となる1階スペースを中心に施設を『あそび場』として捉え、毎月多彩なジャンルのアーティストと協働し、あそべる作品や空間を創造し、体験から鑑賞まで様々な形で文化芸術を通したあそびに触れることが出来る事業を目指す。あわせて、複合文化施設の特徴を活かし、1階スペースの他、ホールやギャラリー、スタジオ、リハーサル室、アトリエなど館内様々な場所を使って、参加型のワークショップの他、鑑賞型（公演・展覧会）を実施する。

(3) 神戸ジャズ100周年記念事業

大正12年（1923年）、神戸で日本初のプロバンドがジャズを演奏してから、令和5年（2023年）で100周年を迎えることから、神戸市・財団・「ジャズの街神戸」推進協議会等が中心となり、記念事業を展開する。財団では、ホームページなどの広報面を担うとともに、自主事業として、神戸文化ホールでのジャズコンサートを企画・実施することで、多彩なジャズの魅力を発信し普及啓発をはかる。また、100周年を機に、地元関

係団体等が中心となって企画・運営するまちなかでのジャズフェスイベント「Kobe Jazz Centennial」での事務局機能を担い、事業の立上げを支援する。

(4) ストリートパフォーマンス支援制度（仮称：KOBE まちなかパフォーマー制度）

神戸市では、三宮エリア等のまちなかで市が設定した場所において、一定の審査を経て事前登録を行ったパフォーマーが、自主的、日常的にパフォーマンス活動を行うことができる仕組みづくりを行うこととしており、財団としても市と協力して取り組み、アーティストの活動機会や活動場所の提供・充実につなげていく。

(5) 神戸文化ホールウェルカムジャンボリー2023『コブホであそぼ!』

神戸文化ホールをアートのテーマパークに見立て、これまでホールに足を運ぶ機会がなかった人たちが訪れる楽しく、バリアフリーで、多様性に富んだ開放的なアートフェスティバルとして開催する。6回目となる今年度は、「絵本 de クラシックコンサート」とマイム俳優のいいむろなおきを中心とした「カムカムパフォーマンスショー」をメインプログラムに据え、大倉山公園で飲食も出来るマルシェを開催するなどしてアフターコロナを見据えた開放的な事業とする。

＜公益目的事業＞

文化ホール

1 文化ホール公演事業

(1) 事業方針

- ・普及啓発及び人材育成型の事業を充実させながら、50 周年事業を中心に神戸文化ホールを拠点とした創造発信事業に着手
- ・先進的な取り組みを行っている他都市の優れた文化施設と連携しながら優れた舞台芸術の鑑賞機会を強化
- ・財団のネットワークを活用した市民・芸術家・文化団体・他地域の文化施設などとの交流や連携を強化

(2) 事業内容

① 創造発信事業

地元芸術団体や文化の担い手である若手芸術家に発表の機会を提供するとともに、実績のある著名なアーティストや他都市の先進的な文化施設との関係作りを強化する中で制作や技術面でのスタッフの能力向上に努め、本格的な創造発信事業に着手する体制を整える。特に 50 周年事業の一つ「緑のテーブル 2017」では「開館 50 周年記念ヴァージョン」として、作品の再構築に取り組み創造発信事業の基盤づくりとする。

② 普及啓発・人材育成事業

子どもたちや働き盛りの若い世代、また障がいを持つ人や外国籍の人たちが楽しくホールに集い、交流し、アートに親しむフェスティバル型の事業「ウェルカムジャンボリー 2023」を実施。未来を担う子どもたちや若い世代が舞台芸術に触れる機会を生み出しながら、新たな観客を育成し、地域に必要とされるホール運営を目指す。

また、「アートマネジメント人材養成講座」を開催しアートマネジメントの「担い手」養成に取り組むとともに芸術文化観光専門職大学の学生をインターン生として受け入れる。

③ 鑑賞事業

質の高い公演や、民間では実現しにくい公演などを中心に、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。

具体的には神奈川芸術劇場他と連携し開館 50 周年事業として実施する筒井康隆原作の音楽劇「ジャズ大名」や世田谷パブリックシアターが制作するスペインのダンスカンパニー＝ラルンベ・ダンサによる“ダンス×3D 映像”のノンバーバル（言語を使わない）・パフォーマンス「エアー～不思議な空の旅」を開催する。

(3) 令和5年度文化ホール公演事業一覧

(単位：人)

事業名	開催時期	公演数	開催場所	入場者数
創造発信事業	6事業7公演			7,200
緑のテーブル2017 ～神戸文化ホール開館50周年記念Ver.～	10/21	1	神戸文化ホール 中ホール	700
和太鼓松村組 神戸公演2023	12/2	1	神戸文化ホール 大ホール	1,600
貞松・浜田バレエ団 「くるみ割り人形と秘密の花園」	12/23, 24	2	神戸文化ホール 大ホール	3,000
SING' N' PRAY	1/27	1	神戸文化ホール 中ホール	500
PRAY FROM KOBE ～明日につなげるコンサート～	1/28	1	神戸文化ホール 大ホール	1,000
第十六回 神戸能	3/20	1	神戸文化ホール 中ホール	400
普及啓発・人材育成事業	5事業18公演			11,708
神戸文化ホール ウェルカムジャンボリー2023 プレイベント	4/22	1	NATURE STUDIO	30
	5/21	1	こども本の森 神戸	100
神戸文化ホール ウェルカムジャンボリー2023 コブホであそぼ！	6/17	1	神戸文化ホール 中ホール	182
アートマネジメント人材養成講座 スペシャル講座 講師：宮城聡（演出家/SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術総監督）	7/30	1	神戸市中央区文化セ ンター	100
エアー～不思議な空の旅～ 関連ワークショップ	8/3	1	神戸文化ホール 練習室	50
アートマネジメント人材養成講座 企画制作講座	9/30 10/28 12/2	各1 (計3)	あすてっふKOBE セミナー室	240
2023年度 劇団四季こころの劇場 神戸公演 ミュージカル「ジョン万次郎の夢」	11/14～17	8	神戸文化ホール 大ホール	11,000
芸術文化観光専門職大学インターン受け入れ	夏季 冬季	各1 (計2)	財団本部	6
鑑賞事業	4事業8公演			4,850
劇団唐組第71回公演「透明人間」	4/28, 29, 30	3	湊川公園	600
エアー～不思議な空の旅～	8/5	1	神戸文化ホール 中ホール	450
第46回 東西落語名人選	9/17	2	神戸文化ホール 中ホール	1,300
ジャズ大名	1月上旬	2	神戸文化ホール 大ホール	2,500
神 戸 文 化 ホ ー ル 事 業 合 計	15事業33公演			23,758

2 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

(1) 事業方針

- ・神戸文化ホールにおける質の高い演奏の提供
- ・演奏水準のさらなる向上
- ・広報強化、アウトリーチの実施による両楽団の周知
- ・自主公演への集客強化と新たな依頼公演の獲得

(2) 事業内容

① 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

全国の自治体で唯一、ホール専属の神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団を保有・運営している強みを活かし、実力ある両団を核とした創造力あふれる企画発信や年齢や障がいを超えて子ども達が楽しむことができる「こどもコンサート」の実施など、普及啓発や社会包摂事業の充実をはかり、「音楽のまち神戸」のシティプロモーション、シビックプライドの醸成に資する。

② 楽団の周知・魅力発信の取り組み

次代を担う子ども達に対する鑑賞機会の提供のため、小学生を神戸文化ホールに招待する「インリーチ事業」と、令和元年度より6年間で市内全小学校へ出張演奏を行う「アウトリーチ事業（5年目）」に地元の音楽家とも連携し継続して取り組んでいく。さらに、市内在住者が通う特別支援学校へのアウトリーチ（出張コンサート）も実施する。

また、令和4年1月から新たに開始した神戸市室内管弦楽団、神戸市混声合唱団の定期演奏会を1年間のセットで聴くことができる「定期会員制度」の募集、サービス内容を強化し、安定した固定客層の獲得を目指す。

引き続き、効果的な広告出稿、SNSの発信の工夫、記者懇談会の開催などで効果的な広報を展開する。

(3) 令和5年度神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団事業一覧（神戸文化ホール関連）

【自主公演】

(単位：人)

事業名		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
神戸市室内管弦楽団	第157回定期演奏会 「田園をゆく、春」	4/22	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	第158回定期演奏会 「ウィーン古典派の万華鏡」	6/3	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	第159回定期演奏会 「新世界の扉をたたけ！」	9/2	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	第160回定期演奏会 「ヴァイオリンの魔法」	11/11	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	第161回定期演奏会 「ラヴェルに乾杯！」	3/9	1	神戸文化ホール 大ホール	500
神戸市混声合唱団	合唱コンクール 課題曲コンサート	4/23	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	秋の定期演奏会 「仏蘭西からの贈り物」	9/16	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	春の定期演奏会 「アメリカ！アメリカ！」	3/2	1	神戸文化ホール 大ホール	500
合同	神戸文化ホール開館50周年記念事業 ガラ・コンサート「神戸から未来へ」	5/19	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	こどもコンサート	7/23	1	神戸文化ホール 大ホール	500
	合同演奏会 ハイドン：オラトリオ《天地創造》	12/16	1	神戸文化ホール 大ホール	500
自主公演合計					5,500

【依頼公演】

事業名		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
混声	アウトリーチ事業（低学年）	5月下旬～3月末	35	市内小学校	5,250
合同	アウトリーチ事業（高学年）	5月下旬～3月末	35	市内小学校	5,250
混声	佐藤正浩プロデュース・オペラ プレコンサート 『フランスオペラに恋して』 ～4人の歌手、神戸市混声合唱団とともに～	8/6	1	住友生命 いずみホール	600
室内	ろうきんコンサート	10/31、11/1、11/2	3	アクリエひめじ 兵庫県立芸術文化センター 神戸文化ホール 中ホール	750
合同	文化ホールインリーチ事業	2/8・9	4	神戸文化ホール 大ホール	5,000
依頼公演合計					16,850

3 文化振興事業

(1) 事業方針

- ・芸術文化による神戸ブランドの創造発信
- ・地元アーティスト・団体の芸術文化活動をサポートし、神戸文化の創造・発展に努める
- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み
- ・次世代の芸術文化の担い手や支え手の育成

(2) 事業内容

① 芸術文化による神戸ブランドの創造発信

神戸に根付いたジャズ文化を市内外へ発信するため、観光・商業・報道等さまざまなジャンルの民間企業・個人・官公庁等と連携し、「ジャズの街神戸」推進協議会の活動として、「神戸ユースジャズオーケストラ」の運営をはじめ、『神戸ジャズの日』記念イベントや、公式ウェブサイト「JAZZ TOWN KOBE」等を通じ、さまざまな神戸のジャズに関する情報を集約し、発信を行う。

また、神戸ジャズ100周年記念の自主事業として、神戸文化ホールでのジャズ・コンサートを企画・実施することで、多彩なジャズの魅力を発信し普及啓発をはかるとともに、100周年を機に、地元関係団体等が中心となって企画・運営するまちなかでのジャズコンサートイベント「Kobe Jazz Centennial」での事務局機能を担い、事業の立上げを支援する。

② 情報収集・提供の充実

新型コロナウイルスの影響を受け、活動の場が減っている地元アーティスト等文化芸術関係者を対象に、ウェブサイトから気軽に相談できる「こうべ文化芸術相談窓口」を設置し、文化芸術活動に関する相談（資金調達、活動拠点、広報等）に対し、専門家等と連携し情報提供や助言等を実施する。また、セミナーや座談会等の開催により、学びや交流機会の提供に努め、新たな事業につながる取り組みを行う。

これらの取組を通じて、地域の文化芸術活動にかかる情報や、必要な知見、ネットワークを蓄積し、アフターコロナを見据えた神戸の文化芸術振興・発展につなげていくことを目指す。

③ 市民参加型芸術文化事業の充実

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「神戸市吹奏楽祭」や「モーブガレット交歓会」、「シャンソン・ポピュレールコンクール」等の事業を行う。

④ 地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援

神戸文化の基盤となっている地元芸術文化団体の活動を支援するとともに、神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団が行っている市内小学校へのアウトリーチ事業を地元芸術団体と連携して行う等協力関係の強化を図る。また、「神戸市吹奏楽祭」、「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」等を通じて今後の神戸文化の担い手となる若手人材の育成を支援する。

⑤ 芸術文化を担う人材の育成

アートマネジメント業界を志望する学生や文化芸術団体（劇場・音楽堂、実演団体）に所属するスタッフ等を対象とした講座の実施や、大学等と連携したインターンシップの受け入れ、あるいは学生等による自主的な公演制作の支援等を通じ、アートマネジメントの「担い手」養成を図る。

（３）令和５年度文化振興課事業一覧（神戸文化ホール関連）

（単位：人）

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
神劇まわり舞台	4月～3月	市内小劇場	1,200
KOBEJAZZDAY2022旧居留地コンサート （「ジャズの街神戸」推進事業）	4/2	旧居留地三井住友銀行 神戸営業部前	500
神戸ユースジャズオーケストラの運営 （「ジャズの街神戸」推進事業）	通年	100BANホール、ジー ベックホールなど	—
神戸市吹奏楽祭	4/29, 11/3	神戸文化ホール 大ホール	3,500
こうべ全国洋舞コンクール	5/3～5/6	神戸文化ホール 大・中ホール	2,000
神戸三曲協会演奏会	6/11	神戸文化ホール 中ホール	350
神戸フィルハーモニック定期演奏会等	6/25 11/7, 1/14	神戸文化ホール 大ホール	1,500
神戸ジャズ道場	8/3～8/5	神戸セミナーハウス	—
JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL	8/18～8/20	神戸文化ホール 大ホール	2,500
全日本シャンソン・ポピュラーコンクール （ファイナル）	9/23	神戸文化ホール 中ホール	300
神戸ジャズストリート	10/8・9	北野町界隈10か所程度	2,000
神戸音楽家協会・神戸からのしらべ （室内名曲シリーズ）	10/29	神戸文化ホール 中ホール	300
神戸大アートマネジメント研究会 こどものためのコンサート	12/3	舞子ビラ あじさいホール	150
母親コーラス「モーブガレット交歓会」	12/7, 8	神戸文化ホール 中ホール	1,300
文化振興事業合計			15,600

4 情報発信

（１）神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団の情報発信強化

神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団について、専門人材のネットワーク・SNSを活用した積極的な情報発信、マスコミとの関係構築による記事化・放送化に引き続き取り組む。また、各公演に音楽評論家を招き、注目される団体としてのムーブメントを起こし告知に資するといった戦略的広報を更に進める。

（２）インターネットによる情報発信

当財団が主催する主要事業などを幅広く紹介するとともに、管理している各施設の空室情報や講座の受講申込み、各種情報誌の内容をホームページに掲載する。

また、ツイッターやフェイスブック、インスタグラムなど多様な SNS を活用したリアルタイムの情報発信に積極的に取り組むとともに、動画共有サイト等による事業広報を展開する。

加えて、新型コロナウイルスの影響を受け、活動の場が減っている地元アーティスト等文化芸術関係者を対象とし、ウェブサイトから気軽に相談できる「こうべ文化芸術相談窓口」について、ホームページをより分かりやすいものに改善し、引き続き、広く利用を促すとともに、セミナーや座談会、交流会などの取組を通じて、地域の文化芸術活動にかかる情報や、必要な知見、ネットワークを蓄積し、アフターコロナを見据えた神戸の文化芸術振興・発展につなげていく。

(3) 「KOBE C 情報」の発信

「KOBE C 情報」については、神戸及びその近郊における文化芸術イベント等を PR したい事業実施者から情報を直接集め、ウェブサイトや複数の SNS で広く発信することで、文化芸術に関する情報のプラットフォーム形成を目指しているが、さらに活動場所や練習場所等などの検索機能を付加するなど利便性の向上に努める。

(4) 文化ホール公演事業の情報発信強化

神戸文化ホールの情報発信機能として、情報誌「ほーるめいと」を発行（18,000 部／隔月）する。また SNS を活用したメールマガジン、フェイスブック、ツイッターでの発信や、ホームページの内容の充実など若い職員の意見を取り入れながら発展させていく。

(5) 広報 PR の強化

財団事業を総合的かつ横断的にプロモーションし、公演の入場者数や入場料収入の増加につなげていく。

また、登用した専門人材の全国的なネットワークを活用し、マスコミへ各種資料提供を行うなど情報発信に積極的に取り組む。

5 神戸文化ホール貸館・管理事業【管理部】

(1) 事業方針

- ・弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供
- ・施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営
- ・文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援
- ・基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

(2) 事業内容

① 弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供

年中無休、早朝仕込み・深夜撤収など、ニーズに応じた弾力的な運用を継続する。また、舞台スタッフによる専門性の高い舞台運営、ホスピタリティ溢れるホール運営で利用者をサポートする。

② 施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営

利用後のアンケート等でいただいたご意見・ご要望をもとに、ホール運営全般の改善に努める。

③ 文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援、広域からのホール利用の促進

抽選会における優先利用制度や練習利用の割引料金制度による地元芸術団体、若手芸術家の活動支援を継続する。また、メールを用いた事前受付制の抽選会を継続して実施することで、コロナ感染対策としての対面接触を減らすだけでなく、遠方の利用希望者のホール利用のアクセシビリティを向上させる。

④ 基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

設備全般にわたる日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努め、神戸市の公共基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営を行なう。

また、キャッシュレス決済（電子マネー）で利用料金やチケット代金の支払いが可能となる電子精算機器の整備や、ホールでのインターネット配信等のため光回線利用設備を整備、非接触で入場を可能とするスマートゲートの導入により利用者にとってより使いやすくなるサービスと設備を引き続き提供する。

新開地アートひろば

1 新開地アートひろば事業

(1) 事業方針

- ・文化芸術を軸とした地域の活性化と賑わいづくり
- ・子育て世代をはじめ、幅広い人々が集う、地域にひらかれた文化活動拠点
- ・継続したアーティストの育成・支援
- ・市内外の文化施設や教育機関、財団のネットワークを活用した交流や連携の強化
- ・実施事業の評価・リサーチ・研修による事業向上及び人材育成

(2) 事業内容

① 創造発信・地域活性化事業

アーティストとの協働による創造的プログラムを通年にわたり計画・実施する。
月替わりで様々なジャンルのアーティストを起用して事業を展開、幅広い世代に向けた鑑賞・参加型イベントを実施することで地域の文化活動拠点をを目指す。

事業名：「ニューあそび場の創造」

② アーティスト育成・支援事業

次代を担う若手芸術家の育成プログラムの他、アーティストの創作活動や発表の場の提供を行う。長期的にアーティストを支援する仕組み作りや、文化芸術活動に携わる様々な人に向けた育成支援事業を展開し、アートファンの裾野を広げることを目的とする。

事業名：「Go!Go! High school Project」、「アーティストサポートプログラム」

③ プログラム連携・構築事業

市内文化施設との連携の他、事業評価・リサーチを実施し、事業計画の改善、スタッフの専門性を高め人材育成に繋げる。

事業名：「Marching KOBE」「事業リサーチ・評価・研修プログラム」

(3) 令和5年度 新開地アートひろば事業一覧

(単位：人)

事業名	開催時期	公演数	開催場所	入場者数
ニューあそび場の創造事業		10 事業	116 公演	5,100
1 「to R mansion」	5月	10	ホール、1room、てててパーク	500
2 「ズガ・コウサクとクリ・エイト」	6月	10	ギャラリー、1room、てててパーク	500
3 「新開地おぼけひろば」	7月8月	30	ギャラリー、ホール、1room、てててパーク	1,000
4 「新開地リサーチプロジェクト（前期）」	9月	10	1room、てててパーク	400
5 「マキコムズ（未定）」	10月	10	1room、てててパーク	400
6 「劇団かかし座（未定）」	11月	6	1room、てててパーク	500
7 「長井絵理奈（山猫団）：ダンスを渡す」	12月	10	1room、てててパーク	500
8 「StarMachineProject(未定)」	1月	10	ギャラリー、1room、てててパーク	400
9 「安住の地（未定）」	2月	10	ホール、1room、てててパーク	500
10 「新開地リサーチプロジェクト（後期）」	3月	10	1room、てててパーク	400
アーティスト育成・支援事業		2事業	44 日間	220
1 Go!Go!High school Project 2023	7/9(日)～8/20(日)	43	ホール	200
2 アーティストサポートプログラム	通年	1	アトリエ	20
ネットワーク・事業評価・人材育成事業		2事業		179
1 Marching KOBE	通年	-	神戸市内	179
2 事業評価プログラム	通年	-	新開地アートひろば	
その他事業		2事業	12 日間	1,426
1 新開地ジャズヴォーカルクイーンコンテスト・音楽祭	5/13(土)、14(日)	2	ホール	179
2～11 土曜マルシェ	毎月第2土曜日	10	1room	1,247
新開地アートひろば自主事業合計		16 事業	172 公演／日間	6,925

2 情報発信

情報発信機能を充実、強化するため、チラシやホームページ、SNS など幅広い広報 PR に努めると共に、子ども向けのイベント情報ツール（すぐる等）を活用し広報活動を実施する。

3 新開地アートひろば貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ・ 条例・規則に基づいた公平・公正なサービスの提供
- ・ 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応
- ・ 市民の芸術文化活動の促進・誘致
- ・ 利便性の向上と芸術文化活動への協力

(2) 事業内容

① 条例・規則に基づいた公平・公正な貸館サービスの提供

条例規則を基に「新開地アートひろば管理規定」を新規に作成し、利用者に対して公平・公正なサービスを提供する。管理規定では条例規則で定められていない箇所を明確にし、恒常的に安定したサービスを引き続き提供する。

② 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応

施設の使用用途を「練習施設」「発表施設」の2つに分類し、それぞれの対応フォーマットをまとめ、利用者が安心して利用できる体制づくりを整える。「発表施設」では、予約段階から相談や打合せなどの専門知識を備えた施設運営スタッフが対応を行う。

③ 市民の芸術文化活動の促進・誘致

アトリエに、専属の担当者を配置して、稼働日数を増やし、利用率の向上を目指す。また、新たに設けられる子育て世代向けのスペースの運用ルールを設け、個人・団体による利用に対応した、スペースの運営を行う。キッチンスペースについても、運営時間を拡大する等により、1階スペースが立ち寄りやすく、居心地のいい空間となることを目指す。

④ 利便性の向上と芸術文化活動への協力

新しい施設予約システムを導入し、わかりやすくスムーズな施設予約環境の提供を行い、ネット予約に対応する準備を進める。また、定期的な利用がある団体に対して、広報協力の取り組みを新たに設ける等、施設利用者から繰り返し選ばれる施設を目指す。

各区文化センター

1 文化センター講座・地域連携事業

(1) 事業方針

- ・「地域住民とともに歩む文化センター」として市民の文化活動ニーズに対応、講座事業や地域連携事業の実施
- ・子育て世代、子ども対象に参加しやすい料金設定でのイベント、講座を増やす
- ・作品展示会・発表会の実施
- ・「多文化共生」をテーマにした事業実施
- ・財団が有する文化事業運営ノウハウや、文化団体との人的ネットワークを活用

(2) 事業内容

① 講座事業

入門者・初心者対象の文化・教養・スポーツなどの講座を、新規に学びたい方にも試みやすい3ヶ月単位の期間（春季・夏季・秋季・冬季）に令和2年度に変更した。神戸市内の他大手カルチャースクールが事業撤退あるいは縮小していく最近の状況下でも着実に講座事業を継続し文化活動を楽しんでいただけるよう引き続き運営していく。また、一部センターでは引き続き、オンライン講座を継続して実施する。

② 地域連携事業（地域住民参加型のイベント及び地域文化活性化事業）

各センターの特色を生かした住民参加型の事業に取り組むとともに、「農村歌舞伎」や「須磨琴」など地域の伝統文化や歴史を生かした事業を実施する。令和2年度より指定管理となった旧勤労市民センターを中心に、市の文化財課や博物館との連携事業を多数展開した実績を踏まえて、今年度も文化振興に関わる他施設との連携を強化していく。

また地域文化活性化事業として、従来の伝統文化や歴史を生かした事業に加え、神戸にゆかりのある音楽家や落語家を迎えた公演等、今まで以上に色彩豊かな事業展開を行っていく。

③ 作品展示会・発表会

文化センターのギャラリーやロビー、ホールにおいて、講座受講生をはじめとする市民の絵画、陶芸、写真などの作品展示会や舞踊、音楽等の発表会を実施する。

④ 「多文化共生」をテーマにした事業実施

神戸市が中央区文化センターの事業目標として掲げている「多文化共生」に即し、中央区文化センターを中心に外国人アーティストによる事業を実施する。神戸市在住のイタリア人ヴァイオリニストを中心とした海外アーティストのミニコンサートを中央区文化センターにおいて開催する。他にも、海外との繋がりが深い旧居留地という特色を活かし、外国人による母国文化の紹介や交流イベントなどを企画する。

(3) 令和5年度文化センター事業一覧

(単位：人)

事業名		開催時期	回数	開催場所	入場者数
文化センター共通事業					
	市民の第九2023	12/9	1	神戸文化ホール	1,240
地域文化活性化事業					
	書の芸術祭	7/15	1	東灘区文化センター	300
	オペラ	9/15	1	東灘区文化センター	250
	ミュージックフェスタ	9/17	1	東灘区文化センター	200
	親子で楽しむジャズコンサート	10/8	1	東灘区文化センター	350
	うはら第九	12/2	1	東灘区文化センター	150
	東灘区文化センター音楽会	12月	1	東灘区文化センター	150
	定例講座発表会	3月	1	東灘区文化センター	250
	第55回民謡春祭り	4/16	1	灘区文化センター	300
	第28回灘区コーラスの集い	6/23	1	灘区文化センター	250
	博物館連携イベント	5月以降	1	灘区文化センター	150
	美術館連携イベント	7月・10月	2	灘区文化センター	150
	こども縁日アート	7or8月	1	灘区文化センター	250
	灘区民寄席	11/12	1	灘区文化センター	150
	親子で楽しむ演奏会	1/21	1	灘区文化センター	300
	マリーゴールドフェスティバル	2/25	1	灘区文化センター	200
	開館1周年記念コンサート(仮称)	7月	1	中央区文化センター	230
	KOSMAサマーコンサート	8月	1	中央区文化センター	200
	NEW YEAR MUSIC DAYS	1月	1	中央区文化センター	200
	ひょうごオータムフェスティバル	10/21	1	兵庫区文化センター	300
	神戸ユースジャズオーケストラコンサート	1/27	1	兵庫区文化センター	150
	kajiiの日用品楽器コンサート～食器はうたう～	3/30	1	兵庫区文化センター	250
	すずらんホール農村歌舞伎	9/16	1	北区文化センター	150
	クリスマスコンサート	12/24	1	北区文化センター	300
	講座受講生合同発表会	2/18	1	北区文化センター	250
	シャンソンフェスティバル	3/9	1	北区文化センター	200
	獅子舞	3/10	1	北区文化センター	150
	ありまホール映画サロン夏休みこども大会2023	8/5	1	北神区文化センター	150
	北神オータムフェスタ2023	10/7	1	北神区文化センター	600
	Special Jazz Live 2023	10/29	1	北神区文化センター	200
	クリスマスコンサート2023	12/16	1	北神区文化センター	250

新春おたのしみ会	1/14	1	北神区文化センター	300
みんなでわいわいチャリティーコンサート	3/10	1	北神区文化センター	300
2023年度講座発表会	3/16・17	2	北神区文化センター	650
ピフレdeアートVol. 11 辰野翼ピアノリサイタル	6/11	1	長田区文化センター	200
ピフレdeアートVol. 12 こどもコンサート	8/19	1	長田区文化センター	300
ローゼズフェスティバル	9/2	1	長田区文化センター	250
長田わいわいステージショー	10/7	1	長田区文化センター	200
フレッシュコンサート	10月	1	長田区文化センター	200
ピフレクリスマスナイト	12月	3	長田区文化センター	300
ピフレdeアートVol. 12 馬場清孝・澤田真智子ジョイントリサイタル	1/28	1	長田区文化センター	250
ピフレdeアートVol. 13 僕の光、グスタフがみた世界Part2	2月	1	長田区文化センター	200
歴史講演会	3月	1	長田区文化センター	150
サルビアフェスティバル	3/2	1	長田区文化センター	300
須磨区音楽協会コンサート	4/16・7/16・2/4	3	須磨区文化センター	350
須磨区民寄席	5/28・9/17・1/14	3	須磨区文化センター	150
こども向けミュージカル	7/2	1	須磨区文化センター	200
須磨フィルハーモニーコンサート	9/10・12/10	2	須磨区文化センター	300
須磨の歴史	10/15	1	須磨区文化センター	100
須磨区女性音楽グループ発表会	9/28・10/8・11/16	3	須磨区文化センター	200
定例講座発表会	3/19	1	須磨区文化センター	550
しあわせいっぱいスプリングコンサート	5/7	1	北須磨文化センター	300
ジャズワインコンサートinきたすま	6/16	1	北須磨文化センター	200
きたすまハロウィンまつり ～ぬりえ・お絵描きコンテスト～	10/24～31	1	北須磨文化センター	350
Xmas Concert in KITASUMA	12/24	1	北須磨文化センター	300
区民の音楽の広場	5/21	1	垂水区文化センター	200
こどもコンサート	未定	1	垂水区文化センター	300
区民音楽祭	11/10	1	垂水区文化センター	350
ゼラニウムフェスティバル秋の祭典	11/11	1	垂水区文化センター	200
響けハーモニー	11/12	1	垂水区文化センター	800
講座発表会	3/16	1	垂水区文化センター	300
こども農村歌舞伎体験教室 神戸の農村歌舞伎と講演	4～9・9/9・9/10	2	西区文化センター	250
ダンスフェスティバル	12/10	1	西区文化センター	700
ゴスペルコンサート	12/24	1	西区文化センター	250
こども向けミュージカル	1/21	1	西区文化センター	500
定例講座合同発表会	3/2	1	西区文化センター	450
事業合計		78		19,120

2 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

(1) 事業方針

- ・各区文化センターにおける質の高い演奏の提供

(2) 事業内容

各区文化センターにおいて、従来の公演に加え、令和4年度から新たにスタートした神戸市室内管弦楽団による、安価な料金で休憩なし60分以内の企画を継続する。公演後にはトークなどの交流プログラムを実施するほか、定期演奏会で取り上げないような作品、出演者の組み合わせを積極的に試み、市民に新しい音楽体験を届ける。

令和5年度神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団事業一覧（文化センター関連）

（単位：人）

事業名		開催時期	公演数	開催場所	入場者数
室内	セレクション Vol13	8/5	1	東灘区文化センター うはらホール	400
	セレクションVol14 ※2回公演	2/23	2	長田区文化センター別館 ピフレホール	500
混声	わがまちコンサート ピフレ	11/19	1	長田区文化センター別館 ピフレホール	300
	あなたに贈るコンサート	6/8・10/29・1/28	3	北神区文化センター ありまホール 東灘区文化センター うはらホール 中央区文化センター	750
自主公演合計					1,950

3 文化振興事業【文化振興課】

(1) 事業方針

- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み

(2) 事業内容

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「シャンソン・ポピュレールコンクール（神戸大会）」等を企画していく。

令和5年度文化振興課事業一覧（文化センター関連）

（単位：人）

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
全日本シャンソン・ポピュレールコンクール（神戸大会）	6/3	長田区文化センター別館 ピフレホール	170
全日本シャンソン・ポピュレールコンクール（セミファイナル）	8/5	長田区文化センター別館 ピフレホール	120
神戸フォーレ協会 ボンジュール・フランス（室内楽名曲シリーズ）	6/25	東灘区文化センター うはらホール	250
神戸三曲協会独奏会	3/17	東灘区文化センター うはらホール	200
文化振興事業合計			740

4 情報発信

文化センターの情報発信機能の充実を図るため、チラシやホームページでの情報提供のほか、ポスティング、文化センターだよりの発行、友の会運営に取り組むとともに SNS を積極的に活用していく。令和 3 年度より市民の第九公式 LINE アカウントを開設し、公式マスコットキャラクター「べんちゃん」のスタンプを発売。

5 文化センター貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ・料金割引制度や利用団体への広報・相談サポートなどの向上と積極的な広報活動による利用促進
- ・長年培ったノウハウの活用による、安全・安心で快適な利用環境の提供
- ・市立の貸館施設として、公的機関及び団体に研修・会合・健診等の誘致活動を実施
- ・財団が運営する定例講座とは別に、利用率の低い貸室を市民の「教えたい」ニーズ対応として貸館利用で講師が、一定期間講座を開設することで、市民の「学びたい」ニーズにも応え、利用率改善にもつなげる
- ・多くの市有施設を一体管理する新貸館システムを令和 5 年度初期から導入し利用者の利便性を向上させる

(2) 事業内容

① サービスと利便性の向上

例：休館日の祝日開館、インターネット予約受付、インターネット無料接続サービスの提供、利用料金の割引対象拡充、利用料金等のキャッシュレス決済の導入
市有施設利用申し込み一体管理システム（あじさいネット）導入など

② 地域文化団体との連携強化による情報発信や運営サポート支援

例：地域文化団体の利用料金割引拡充、貸館利用団体専用掲示板設置など

③ 積極的な貸館セールス

例：「文化センターだより」発行、「友の会」・ホームページの活用
入口付近設置の大型ディスプレイによる、空室状況の掲示

④ 省エネルギーや環境を意識した設備管理

例：節電、環境保護の取り組みの日常業務への組み入れ

<収益事業>

(1) 神戸文化ホール貸館・管理事業

神戸文化ホールにおいて、コンベンションなど文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また自動販売機設置や駐車場など神戸文化ホール利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール	: 2043 席
	中ホール	: 904 席
	リハーサル室	: 150 名
	練習室 1～5	: 15 名～150 名
	多目的室・特別控室	
	自動販売機	: 7 台
	駐車場（神戸文化ホール練習場）	: 10 台

(2) 新開地アートひろば貸館・管理事業

これまでの利用者に加えて、子育て世代をはじめ、幅広い人々が集う地域に開かれた施設を目指す。特に1階は、子ども向けスペースや、飲食店舗「はっちゃんの台所」（仮）など、利用者が気軽に立ち寄り、集いやすいスペースとしての運営を図ること、来館人数の向上を目指す。

※施設概要	多目的ホール	: 232 席
	ギャラリー	: 108 m ² 程度（予定）
	リハーサル室 1～2	: 120 m ² ～189 m ²
	会議室 1～2、スタジオ 1～3、1room 等	
	自動販売機	: 3 台

(3) 文化センター講座・地域連携事業

当財団が指定管理者として管理運営する文化センターにおいて、美容・スポーツなどの文化振興目的以外で利用者ニーズの高い講座や自主事業を開催する。

※例 講座：健康体操、スポーツ吹矢、バドミントン、卓球、水泳など
自主事業：コミュニティフェスティバル、卓球大会など

(4) 文化センター貸館・管理事業

指定管理者である文化センターにおいて、イベントなど文化活動以外を目的とする活動の場を提供する。また自動販売機設置や駐車場等文化センター利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール、体育施設、プール	
	会議室、多目的室	
	和室・音楽室・美術室・陶芸室等	
	自動販売機	: 34 台
	駐車場（北神区文化センター）	: 123 台

＜法人管理運営事業＞

（１）専門性の強化・効率的な執行体制の構築

芸術文化事業についての研修等の充実を図り、職員の知識の向上及び専門性の強化など人材育成に努めるとともに、優秀な職員を固有職員として登用する。

平成 30 年度から、職員研修を充実させ、職員に基礎実務研修や専門家を招聘した特別講義等を定期的で開催し、人材育成プログラムの充実を図っている。

令和 3 年度から、外部の専門人材を積極的に登用し新文化ホールを見据えた演奏事業、文化ホール事業の強化を行うほか、イベント運営のノウハウ修得も目指し「六甲ミーツ・アート芸術散歩」の事務局を担う六甲山観光株式会社への人的支援を引き続き実施する。

（２）経営の安定化

「中期経営計画 2026」で定める目標の実現に向け、事業を着実に実施していくためには、経営の安定が必須であることから、事業収入の確保のほか、公的及び民間団体からの助成金の獲得、税制優遇制度を活用した寄附など外部資金の獲得に向けて、これまで以上に力を入れて取り組む。

また、当財団事業について、改めて再構築の観点から徹底的な見直しを進めていくとともに、令和 3 年度よりセグメント会計を導入し、事業部毎の独立採算を目指している。

平成 30 年 7 月に地元経済界が立ち上げた芸術文化を支援する「神戸文化マザーポートクラブ」の事務局を当財団が担うことで、芸術文化界と地元経済界のつなぎ役を担うとともに、当財団としても経済界との関係を深め、当財団に対する企業協賛等支援の獲得を目指していく。